

第三次名張市子ども読書活動推進計画
令和3年度第1回施策進捗状況調書

令和3年10月

名 張 市

名張市教育委員会

目 次

1. 指針1：家庭、保育所（園）及び認定子ども園・幼稚園等における読書の推進	1
2. 指針2：小・中学校における読書の推進	5
3. 指針3：市立図書館における読書の推進	9

第三次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

指針1:家庭・保育所(園)及び認定こども園・幼稚園等における読書活動の推進

令和3年10月作成

1 絵本の充実と整備

施策・方針	実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(案)
ア 絵本等の整備費の確保を図り、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本と、子どもが魅力ある本を手にとって見ることができる環境を充実させます。	・絵本貸出:10園(前年度比1園減) ・廃棄した絵本と同じ絵本を更新しました。:5園67冊 ・絵本は表紙が見えるように置いたり、年齢に合わせた本棚の高さにしたりするなど、子どもたちが手を伸ばして絵本に触れられるようにしました。また、ソファを置きゆったりと見られるようにしたり、絵本を囲んで友だちと一緒に見られるような机の配置をするなどの環境を整えました。	・子どもの興味や年齢、発達に応じた絵本の確保、絵本の修理や絵本コーナーの設置・充実等の環境整備に努めています。 ・人気の絵本は消耗しやすいので、修理や再購入するなど、繰り返し好きな絵本に親しめるようにしています。	・絵本の購入や絵本コーナーの整備等、絵本に親しめる環境整備を進めます。 ・人気の絵本は消耗しやすいので、修理や再購入するなど、繰り返し好きな絵本に親しめるようにします。
イ 子どもと本の出合いをより充実させるために、保育所(園)及び認定こども園・幼稚園等は、図書館訪問や移動図書館、団体貸出の活用を推進します。	・図書館訪問:中止(前年度比8園減) ・移動図書館:6園(前年度比1園減) ・団体貸出:5園(前年度比3園減)	・コロナ禍で図書館訪問は控え、移動図書館を活用しています。	・図書館訪問や移動図書館、団体貸出を活用し、絵本環境の充実を図ります。
課題			
	・年齢や発達、季節や行事に応じた絵本環境の充実に努めます。 ・団体貸出を活用し季節や行事に合った絵本や幅広いジャンルの絵本を整え、絵本に触れることができる環境の充実を図ります。		

2 読書活動推進のための取組

施策・方針	実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(案)
ア 保育士や保育教諭、幼稚園教諭を対象に、子どもの年齢、成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法を学ぶ研修を充実させます。	・園内研修の実施:6園 ・研修会への参加:5園 ・講師研修:2園	・コロナ禍で外部研修や講師依頼は控えています。 ・保育カリキュラムに絵本や言葉についての内容を位置付けています。	・職員の選書能力や読み聞かせ技術を高め、保育の中で読書習慣の定着を図ります。 ・引き続き、保育カリキュラムに絵本や言葉についての内容を位置付けていきます。
イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続するとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催する等、家庭、保育所(園)及び認定こども園・幼稚園等へ積極的に支援します。	<ブックスタート> ・こども支援センターかがやき:月3回151世帯 ・マイ保育ステーション「おひさま」:月1回29世帯 ・コロナ禍で保育参観や親子読み聞かせの機会は見送りました。 ・保護者研修:2園 ・なかよし広場での読み聞かせ:15園(前年度比3園増) ・保育参観や親子読み聞かせの実施は見送りましたが、園だよりや掲示、ホームページで絵本や読み聞かせの大切さを伝えました。 ・玄関やテラスにおすすめの絵本を展示し、手に取って見ることができるようになりました。	・こども支援センターかがやきとマイ保育ステーション「おひさま」で、ブックスタートを実施しています。 ・なかよし広場で読み聞かせをしています。 ・園だよりや掲示、ホームページで保護者に絵本の大切さを伝えています。 ・玄関やテラスにおすすめの絵本を展示しています。	・ブックスタートを実施します。 ・なかよし広場を開催し、読み聞かせの機会を設けます。 ・保護者への啓発に努めます。

ウ こども支援センターかがやきやマイ保育ステーションでは、乳幼児期からわらべうたや読み聞かせ等に親しむ時間を十分確保し、子どもが絵本に出合うきっかけづくりを充実させます。	・わらべ歌遊びで親子ふれあいの機会を設けました。 ・音の出る絵本や乗り物、動物など乳児向けの絵本を充実しました。 ＜こども支援センターかがやき＞ ・ボランティアによる読み聞かせや手遊び：6回 ・保護者向け絵本研修開催：1回 ・大人向けの絵本の読み聞かせや紹介：2回 ＜マイ保育ステーション＞ ・絵本を楽しむ会を毎月1回実施。読み聞かせをした絵本や季節や年齢に応じた絵本を用意し、親子で楽しむ時間を設けました。	・わらべ歌遊びで親子ふれあいの機会を実施しています。 ＜こども支援センターかがやき＞ ・ボランティアによる読み聞かせや手遊び：年6回実施予定 ・保護者向け絵本研修開催予定 ＜マイ保育ステーション＞ ・絵本を楽しむ会：毎月1回実施。 ・親子ふれあい遊びや絵本の読み聞かせ、季節や年齢に応じた絵本の紹介をしています。	・未就園の親子対象にわらべ歌や読み聞かせの時間を確保し、絵本との出会いのきっかけ作りに努めます。
エ こども支援センターかがやきやマイ保育ステーション、保育所(園)及び認定こども園・幼稚園等でそれぞれの課題を整理しつつ、子育て支援員の活用や市立図書館との協働により、読み聞かせや読書環境の整備等、ボランティアの効果的な活用を推進します。	・ボランティアによる読み聞かせや手遊び：3回(前年度比3園減)	・ボランティアの来園は控えています。	・ボランティアの協力を得ながら子どもの絵本への興味関心を高めていきます。
オ 「子ども読書の日」の周知を図り、保育所(園)及び認定こども園・幼稚園等において、子どもが絵本に親しめる環境整備に取り組めます。	・絵本の読み聞かせや紹介等保護者に乳幼児期からの読書週間の大切さを伝えたり、職員間で読書の大切さを再確認するなど「子ども読書の日」に関連した取り組みをしました。全園19園(前年度比2園増) ・読書の日以外に、日常的に絵本に触れる機会を設け、保育の中では毎日読み聞かせを実施しています。 ・園内で絵本の貸し出しの実施：10園(前年度比2園減)	・「子ども読書の日」に関連した取り組みや読み聞かせ、絵本紹介など年間を通して保護者に乳幼児期からの読書の大切さを伝えていきます。 ・日常的に絵本に触れる機会を設け、保育の中では毎日読み聞かせを実施しています。 ・絵本貸出日を設けています。	・「子ども読書の日」に関連した取組や、読み聞かせや絵本紹介など、年間を通して保護者に乳幼児期からの読書の大切さを引き続き伝えていきます。

課題		
・コロナ禍だからこそ、絵本との出会いや親子触れ合いの大切さを保護者に伝えていくようにします。 ・「子ども読書の日」に関する取組や保育の中で読書習慣の定着を図ります。 ・保育カリキュラムの中に絵本や言葉についての内容を位置付けていきます。		

【数値目標】

成果指標	目標値 2022(令和4)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
「子ども読書の日」に向けた取組を実施している施設	17施設	全施設(19施設)		

第三次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

指針2:小・中学校における読書活動の推進

令和3年10月作成

1 学校図書館の資料の充実

施策・方針	実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(案)
ア 各学校の実情に応じた図書館資料の整備を、蔵書比率を考慮しながら推進します。	・各校の蔵書比率をデータ処理し、蔵書比率の適正化に向け、書籍購入の際に学校司書が助言を行いました。 ・学習指導要領改訂に伴い、教科書に紹介されている図書の積極的・優先的な購入を進めました。(15校297冊) ・子どもが読書への興味関心を高め、読書の幅を広げることができるよう「リクエスト制度」等を取り入れるようにしており、市内19小中学校のうち16校で実施しました。(小学校11校、中学校5校)また、今後「リクエスト制度」が確立するように努めてきました。	・各校の蔵書比率をデータ処理し、蔵書比率の適正化に向け、書籍購入の際に学校司書が助言を行っています。 ・学習指導要領改訂に伴い、教科書に紹介されている図書の積極的・優先的な購入を進めています。 ・新刊購入に児童・生徒の希望を反映させる「リクエスト制度」を取り入れる等、子どもが読書への興味関心を高め、読書の幅を広げることができる取組を実施しています。「リクエスト制度」は、市内19小中学校のうち9校(小学校4校、中学校5校)で実施しています。	・各校の蔵書比率をデータ処理し、蔵書比率の適正化に向け、今後も書籍選定の際に学校司書が情報提供を行います。 ・子どもが読書への興味関心を高め、読書の幅を広げることができるよう、「リクエスト制度」等の取組を工夫し、図書館資料の整備を進めます。
イ ふるさと学習「なばり学」を促進するため、名張の地域教材等、多種多様な形態の資料の収集を推進します。	ふるさと学習の推進のため、郷土資料の充実を図りました。	ふるさと学習の推進のため、郷土資料の充実を図っています。	ふるさと学習の推進のため、継続的に郷土資料の充実を図ります。
ウ 市立図書館等と協働し、団体貸出等を利用しながら、子どもや学校のニーズに応える図書の整備を推進します。	・市立図書館等と連携・協力を図りながら、学校図書館の資料の充実を図りました。団体貸出は、市内14小学校のうち11校が利用しました。(昨年度比1校減)	・コロナ禍で市立図書館等との連携は、思うようにできておらず、団体貸出は、市内14小学校のうち1校の利用にとどまっています。	・市立図書館等と連携・協力を図りながら、学校図書館の資料の充実を図ります。
課題			
	・市立図書館の団体貸出を利用する学校が1校減となった。市立図書館との連携をよりいっそう図りながら、利用校増をめざすことが必要です。		

2 人的体制の整備

施策・方針	実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(案)
ア 学校司書を引き続き配置し、更に増員することで、各学校の図書館整備と子どもの読書活動を推進します。	・学校司書4人が、学校図書館教育充実事業モデル校4校を中心に市内19校の小中学校を巡回し、全ての学校において学校図書館整備や授業支援等の子どもの読書活動推進の支援を行いました。授業支援については、学校司書がブックトークや図書館の利用の仕方、本の紹介や本の分類の仕方等、延べ24回の支援を行いました。	・引き続き学校司書を配置し、司書教諭をはじめとする図書館教育担当者が「学校図書館連絡ノート」を活用しながら連携を密にして、子どもの読書活動を推進し、図書館利用の増加を目指しています。 ・授業支援として、学校司書がブックトークや図書館の利用の仕方等のオリエンテーションを行っています。	・学校司書と司書教諭をはじめとする図書館担当者が連携を密にして、子どもの読書活動を推進し、図書館利用の増加を目指します。
イ 教育センターと各学校の司書教諭等が情報を共有し、協働しながら学校図書館の充実に向けた支援体制を確立します。	・教育センターと各学校の司書教諭等が情報を共有し、学校司書は司書教諭や子どもたちが活動する委員会活動の助言や支援を行いました。	・学校図書館担当者会において、教育センターと各学校の司書教諭等が情報を共有し、学校司書は司書教諭や子どもたちが活動する委員会活動の助言や支援を行っています。	・学校図書館担当者会において、学校図書館充実事業モデル校の先進的な取組について広く周知を図り、全校での情報の共有・交換等で、各校で活用できるようにします。
ウ 司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアの資質能力の向上を目指し、より一層研修を充実します。	・司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアを対象とした研修講座を市立図書館と連携して3回実施し、延べ84人の参加がありました。(昨年度比45人減)	・司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアを対象とした研修講座を9月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりました。	・司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアを対象とした研修講座を実施します。 ・学校図書館ボランティアが情報交換し、ボランティアの幅を広げることができる交流会の場を設定します。
課題			
	・学校司書による支援として、図書館運営支援だけではなく、授業や委員会活動の支援など、さらに活動を広げていく必要があります。		

3 読書活動推進のための学校の取組

施策・方針	実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(案)
ア 多様な読書活動を各教科等の指導計画に位置付け、調べ学習等における学校図書館の活用を推進します。	・全学年で学校図書館を活用した授業が計画的に行われるよう、学校図書館の役割を明記した各学年の年間指導計画については、13校が作成することができています。 ・学校図書館を活用した活動充実のために、司書教諭と学校司書との連携を図りました。 ・調べ学習において、資料を全員で共有できるようにタブレット型端末も活用しながら本への興味関心をさらに深め、授業の充実を図りました。 ・生徒の貸出可能冊数を増やすことや、先輩からのお薦めの本を紹介する「読書郵便」等を実施することで、中学校における学校図書館の活性化や生徒の読書量の増加に取り組みました。 ・コロナ禍において、図書委員が放送で読み聞かせをするなど、工夫して委員会活動を進めました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止として、学校図書館のカウンター前に間隔をあけて整列するための目印をつけることや椅子を間隔をあけて配置すること、3密を回避するために本を借りた後は各教室で読書をするようにすることなどに取り組みました。	・全学年で学校図書館を活用した授業が計画的に行われるよう、学校図書館の役割を明記した各学年の年間指導計画について、すべての学校に作成を促します。 ・学校図書館を活用した活動充実のために、司書教諭等と学校司書との連携を一層進められるよう働きかけています。 ・コロナ禍において、図書委員が放送で読み聞かせをする等、工夫して委員会活動を進めています。	・学校図書館を活用した活動充実のために、司書教諭等と学校司書が連携を一層進められるよう、打ち合わせ時間の確保できるように働きかけます。
イ 学校図書館ボランティア等と協力し、読み聞かせや環境整備、図書館資料の整備等に取り組み、学校図書館を地域に開放する等、コミュニティ・スクールと連動させた学校図書館の充実を推進します。	・コミュニティ・スクールと連動し、ボランティア等と協力し、夏季休業中に学校図書館の開放を進めるなど、地域とともに子どもの読書活動を推進しています。本年度は、小学校で5校、中学校で3校実施しました。(昨年度比:小学校1校減、中学校1校増)	・コロナ禍で活動が制限される中、地域づくり組織等と協力し、読み聞かせや図書室の整備を行うなど、地域とともに子どもの読書活動を推進しています。夏休みの図書館開放は、本年度、小学校の1校にとどまっています。	・地域づくり組織等と協力し、長期休業中に学校図書館の開放を進めるなど、地域とともに子どもの読書活動を推進していきます。

ウ ファミリー読書(家読(うちどく))を保護者等へ周知し、積極的に推進します。	教育センターから4月23日の子ども読書の日に合わせ「としよだより」を発行することで、保護者等へファミリー読書(家読)を周知し、家庭における読書習慣を推奨しました。また、読書週間や学年末に発行する「どくしよだより」や各小・中学校が発行する「図書館だより」により、積極的に子どもたちの読書活動を推進しました。	・各小・中学校が「図書館だより」等の発行により、ファミリー読書(家読)を保護者等へ周知し、積極的に読書活動を推進しています。教育センターから4月23日の子ども読書の日に合わせ「としよだより」を発行することで、保護者等へファミリー読書(家読)を周知し、家庭における読書習慣を推奨しました。	・各小・中学校が「図書館だより」等の発行により、ファミリー読書(家読)を保護者等へ周知し、積極的に読書活動を推進します。
エ 市立図書館等と協働し、図書館職員による学校訪問等を利用しながら、学校図書館の活性化を推進します。	・市立図書館と連携し、図書館流通センター(TRC)スタッフによる小学校の図書館訪問を実施しました。	・市立図書館との連携による小学校の図書館訪問は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となりました。	
課題			
	・コロナ禍における感染対策を講じた中での読み聞かせや催事の開催等読書活動の推進を考えていく必要があります。		

【数値目標】

成果指標	目標値 〔2022(令和4)年度〕	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
全国学力・学習状況調査の質問「学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか」において、30分以上と回答する児童生徒の割合。(教科書・参考書、漫画雑誌は除く)	【小学生】 40% 【中学生】 30%	【小学生】 36.5% 【中学生】 24.5%	【小学生】 34.3% 【中学生】 25.2%	

※小学生の数値は小学校6年生児童、中学生の数値は中学校3年生生徒(全国・学力学習状況調査実施学年)

第三次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

指針3:市立図書館における読書活動の推進

令和3年10月作成

1 市立図書館の児童書の充実

施策・方針	実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(案)
ア 保育所(園)及び認定こども園・幼稚園等や、学校図書館への団体貸出に配慮した児童書の収集を行います。	市立図書館の全蔵書冊数に対する児童書の割合は21.6%で、全蔵書冊数302,230冊のうち、児童書冊数は、65,260冊となっています。また、図書購入費は、6,166,496円(雑誌新聞含まず)となりました。 団体貸出に配慮して、大型絵本や調べ学習の資料等、児童の発達段階に応じた資料収集を行いました。また8,156冊(昨年度10,365冊)の団体貸出や図書寄贈(児童書約2,000冊)がありました。	団体貸出に関して、大型絵本や調べ学習の資料等、児童の発達段階に応じた児童書(277冊)を収集しました。また、1,005冊の団体貸出や図書寄贈の受入を行いました。	団体貸出に関して、学校の図書館担当者と図書館教育担当者会等で情報交換を積極的に行い、必要な児童書の収集を進めます。
イ 長く読み継がれて傷みが激しくなった児童書を更新します。	内容が古くなったり、傷みが激しくなったりした児童書の更新を進めました。	内容が古くなったり、傷みが激しくなったりした児童書の更新を進めます。	蔵書のバランスに配慮しながら、児童サービス担当司書等と連携し、計画的な更新を進めていきます。
ウ 身体の不自由な子どものための点字図書や録音図書・外国人の子どものための外国語の図書の充実を推進します。	点字図書や録音図書に関する情報収集や、おはなし室に、洋書えほんコーナー(約200冊)を設置しています。伊藤忠記念財団からDAISY(音声と一緒に文字や画像が表示されるデジタル図書(CD4枚組2020版41作品)の寄贈を受けました。	点字図書や録音図書・外国人の子どものための外国語の図書に関する情報収集及び購入を進めます。	点字図書や録音図書、外国語図書等の選定のため引き続き情報収集を進め、多様な児童に対応できる資料収集を進めます。

エ 図書館資料として利用できる、電子書籍等の情報収集に努めます。	電子書籍等については、資料として利用できる図書に限られるため、現状では収集に至っていませんが、システム更新にあたり電子書籍に対応可能な図書館システムを導入しました。	引き続き、図書館資料として利用できる電子書籍等の情報収集に努めます。(県内図書館の導入状況等)	引き続き、図書館資料として利用できる電子書籍等の情報収集に努めます。(県内図書館の導入状況等)
課題			
	市立図書館の蔵書構成に留意しながら、児童書の充実を図る必要があります。		

2 人的体制の整備

施策・方針	実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(案)
ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した、児童サービス担当司書を継続して配置します。	児童サービス担当司書を配置し、利用しやすい児童書コーナーのレイアウトを工夫する等、児童への図書館サービスの充実に努めました。 児童サービス担当司書を中心に、新型コロナウイルス感染症に伴う、読書機会減少の対策について検討を行い、「お楽しみパック(子ども向け)(図書館司書選書による3～5冊の本の詰め合わせ)の貸出サービスを提供する等の取組を行いました。	児童サービス担当司書を配置し、新型コロナウイルス感染症に伴う、読書機会減少の対策について、検討を行い、引き続き、「お楽しみパック(子ども向け)」の貸出サービスを提供する等の取組を行っています。	児童サービスに関する専門的な知識を習得した児童サービス担当司書を継続して配置すると共に、全職員及びスタッフのスキルアップを図り、児童サービスの向上につながるおはなし会等の行事について、ボランティアと連携して、充実を図っていきます。
イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を、教育センターと協働して実施します。	各種団体の実施する子ども読書活動推進に関わる研修会の情報収集に努め、おはなし会ボランティアへの情報提供を行いました。(情報件数:3件) 教育センターと連携して、図書館ボランティア研修講座(『よりよい読み聞かせとは～家庭で、学校で、地域で～』(全3回)を実施しました。	各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、おはなし会ボランティアへの情報提供を行っています。(情報件数:1件) 教育センターと連携して、図書館ボランティア研修講座(『読み聞かせブラッシュアップ～楽しくなる読み聞かせのヒント』(全2回)を実施します。	職員やボランティアの児童サービスへの技術力の向上につながるステップアップを図るための研修会を、図書館と教育センターが連携して実施すると共に、関係団体が主催する研修会等の情報提供を行う等、サービスの向上につながる取組を推進します。
ウ 市立図書館のボランティアや、学校図書館ボランティアのほか、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの体制づくりを進めます。	ボランティア組織立ち上げに向け、情報発信のためネットワークを作成しました。	ボランティアに向けた、情報発信のためネットワークにより、組織主体の事業推進を図ります。	ボランティアに向けた、情報発信のためネットワークにより、組織主体の事業推進を図ります。
	課題		
	子どもと本のつなぎ手となる専門的な知識と技術を有する図書館司書の配置と共に、様々なボランティアの協力を得た多様な事業展開が必要です。		

3 地域における子どもの読書活動推進のための取組

施策・方針	実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(案)
ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しの在り方を再検討して、子どもが興味を持ち参加したくなる催し物等を開催することで、子どもの読書活動を積極的・計画的に推進します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育所(園)及び認定子ども園・幼稚園の児童の図書館訪問の受け入れを中止しました。おはなし会等を実施しました。(延べ23回、203人参加(昨年度比、49回減、629人減)) 子ども読書の日関連行事として、例年開催していた拡大版おはなし会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。図書館まつりを開催し、おはなし会を実施しました。(8月8日開催:14人参加(昨年度比80人減))	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育所(園)及び認定子ども園・幼稚園の児童の図書館訪問の受け入れを中止しています。おはなし会等を実施しました。(延べ24回、236人参加) 子ども読書の日関連行事として、例年開催していた拡大版おはなし会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し開催しました。(5月1日開催:17人参加)図書館まつりを開催し、おはなし会を実施しました。(7月31日開催:延べ66人参加)	催事に参加いただいたボランティアの意見を広く聴取し、子どもが参加したくなる企画を一層充実させていきます。
イ 児童サービス担当司書が中心となり、いつでも児童書についての質問や読書相談に対応できるようサービス内容の充実を図ります。	5月の臨時休館の間に、おはなし室の紙芝居の整備や「ちしきの絵本」・「えいごの絵本」コーナー設置等の絵本の設置コーナーの充実を図りました。 天井等改修工事による一部業務縮小の対応として、移動図書館を未巡回日に開放する等の児童書の利用促進を図りました。 ブックスタート事業を実施しました。(9月～12月の間は、図書館天井等改修及び照明設備改修工事のため、こども支援センターかがやきで実施。事業の説明、読み聞かせ:166人参加(昨年度比78人減))	9月の臨時休館の間に、児童コーナーに、子育て情報コーナー設置等の充実を図りました。 ブックスタート事業を実施しました。事業の説明、読み聞かせ:58人参加	児童サービス担当司書が中心となり、いつでも児童書についての質問や読書相談に対応できるようサービス内容の充実を図ります。
ウ 保育所(園)及び認定子ども園・幼稚園等の、団体貸出利用を促進します。	保育所(園)への団体貸出(貸出冊数:3,140冊(昨年度比2,144冊増))及び保育所(園)への移動図書館の巡回を実施しました。(巡回所(園)数:7施設)	保育所(園)への団体貸出(貸出冊数:1,360冊及び保育所(園)への移動図書館の巡回を実施しました。(巡回所(園)数:7施設)	市保育施設への情報提供を積極的に行い、保育所(園)及び認定子ども園・幼稚園等の団体貸出については、関係者との連携を密にして、ニーズに合った図書の団体貸出を行います。

エ 県立高等学校図書館や高等専門学校図書館との連携を深め、相互の図書館の効果的な活用を図ることにより、ヤングアダルトを対象にしたサービスを充実します。	ヤングアダルトを含めた図書館の利用を促進するため、県立高等学校司書からアドバイスをいただくと共に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の動向を注視して、高校生ビブリオバトルへの後援やリサイクル本の提供を県立高等学校へ行うことや自習席を設置しました。	引き続き、県立高等学校司書からアドバイスをいただくと共に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の動向を注視して、高校生ビブリオバトルへの後援やリサイクル本の提供を県立高等学校へ行うことや自習席を設置しています。	県立高等学校図書館や高等専門学校図書館との連携を深め、相互の図書館の効果的な活用を図ることにより、ヤングアダルトを対象にしたサービスを充実します。
オ 子育てを支援する様々な主体と協働して、親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりを進めます。	子育てを支援する組織等と協働し、ブックスタート事業や子ども向けに児童書の特集展示を実施しました。(テーマ数:17テーマ、延べ展示冊数:1,644冊(昨年度比3テーマ減、777冊減))	子育てを支援する組織等と協働し、ブックスタート事業や子ども向けに児童書の特集展示を実施しています。(テーマ数:10テーマ、延べ展示冊数:1,186冊)	市保育施設の会議等の機会を活用し、保育所(園)及び認定こども園・幼稚園等からの図書館訪問を積極的に働きかけると共に、ブックスタート事業を継続します。
課題			
	子育てを支援する施設(こども支援センター・市保育施設等)や子どもの読書活動を推進する主体(学校図書担当者等)との協働が、引き続き必要です。		

4 市立図書館による学校図書館支援

施策・方針	実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(案)
ア 小・中学校の司書教諭等や学校司書及び県立高等学校司書との連携を強化し、学校図書館支援を推進します。	図書館協議会の小中学校校長会や県立高等学校司書からアドバイスをいただくと共に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の動向を注視して、高校生ビブリオバトルへの後援やリサイクル本の提供を県立高等学校へ行うことや自習席を設置し、中高生が図書館を訪れる契機となる取組を進める等、ヤングアダルトを対象にしたサービスの充実を図りました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、なばり本の帯コンクール(昨年度応募点数:807点)は中止しました。	図書館協議会の小中学校校長会や県立高等学校司書からアドバイスをいただくと共に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の動向を注視して、高校生ビブリオバトルへの後援やリサイクル本の提供を県立高等学校へ行うことや自習席を設置し、中高生が図書館を訪れる契機となる取組を進める等、ヤングアダルトを対象にしたサービスの充実を図っています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、なばり本の帯コンクールは中止しました。	図書館教育担当者や学校司書から、団体貸出に必要な資料を提案いただくと共に、学校図書館支援の機会を通じて、情報収集を行い、必要な図書を収集する等、学校図書館の支援に努めます。
イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めることにより子どもの読書活動を推進します。	新型コロナウイルス感染症の状況により、子どもの施設見学(昨年度:小学校5校)及び職場体験(昨年度:中学校4校、高校1校)の受け入れを中止しました。	新型コロナウイルス感染症の状況により、子どもの施設見学及び職場体験の受け入れを中止しました。	子どもの施設見学や職場体験を積極的に受け入れると共に、子どもが図書館に一層興味を深めてもらえる展示や配架に努めます。また、移動図書館のステーションの見直しにより、市内全小学校への巡回に向けた検討を進めます。
ウ 学校に出向いてのブックトークや読み聞かせ等を行う学校図書館支援を継続します。	学校に出向いての学校図書館支援については、新型コロナウイルス感染症の状況により、各校1回(例年2回)で実施しました。	学校に出向いての学校図書館支援については、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止しました。また、移動図書館のステーションの見直しにより、令和3年度より箕曲小学校へ巡回しています。	学校に出向いての学校図書館支援については、以前と同様の支援が困難なため、それ以外の方法について、検討を進め、可能な限り学校の要望を反映するよう努めます。
エ 県立図書館が実施する可能な限りの児童書新刊全点収集を活用し、学校図書館支援を推進します。	小中学校の図書館教育担当者や学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の広報・利用拡充のために情報提供を推進しました。	小中学校の図書館教育担当者や学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の広報・利用拡充のための情報提供を推進しています。	小中学校の図書館教育担当者や学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の広報・利用拡充のための情報提供を推進しています。

課題		
今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3密(密閉・密集・密接)の対策を実施しながら、子どもの施設見学等の受入、学校図書館訪問、団体貸出の利用促進等を通じての学校図書館支援を推し進める必要があります。		

【数値目標】

成果指標	目標値 2022(令和4年度)	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
全貸出冊数のうち児童書貸出冊数	180,000冊	39,850冊		